

読書と図書館サービスについてのアンケート結果

県立図書館では、これまでも、全ての県民の「知りたい」「学びたい」という思いに応えるため、また、県民の自主的な活動を支えるため、市町立図書館と一体となって図書館サービスを提供してきました。

一方で県立図書館を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、県では平成 30 年3月、「これからの滋賀県立図書館のあり方」を策定することで、県立図書館の今後 10 年間の運営の方向性と目指す姿、またそのために重点的に取り組むことを明確にしました。

県立図書館では、この「あり方」に基づく前期5年間の行動計画を策定し、目指す図書館像の実現に取り組んでまいりましたが、この度県民の皆様の読書行動や図書館サービスについてのご意見をお聞きすることで、後期5年間の行動計画策定の参考にさせていただきます。

★調査時期: 令和4年7月

★対象者: 県政モニター299人

★回答者: 251人(回収率 83.9%)

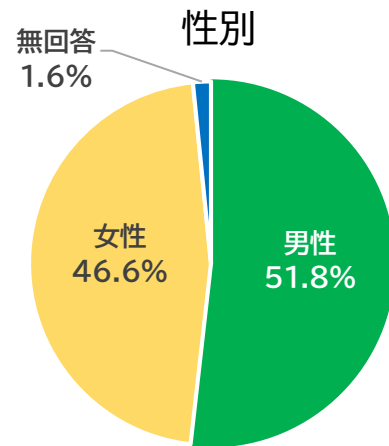
★担当課: 滋賀県立図書館

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【回答者の属性】

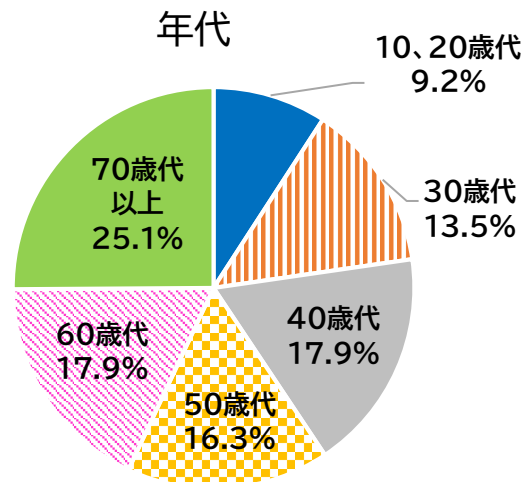
◆性別◆

	人数(人)	割合
男性	130	51.8%
女性	117	46.6%
無回答	4	1.6%
合計	251	100.0%



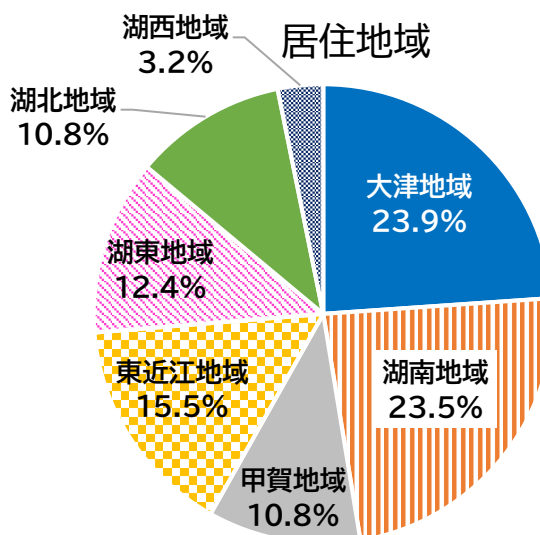
◆年代◆

	人数(人)	割合
10、20 歳代	23	9.2%
30 歳代	34	13.5%
40 歳代	45	17.9%
50 歳代	41	16.3%
60 歳代	45	17.9%
70 歳代以上	63	25.1%
合計	251	100.0%



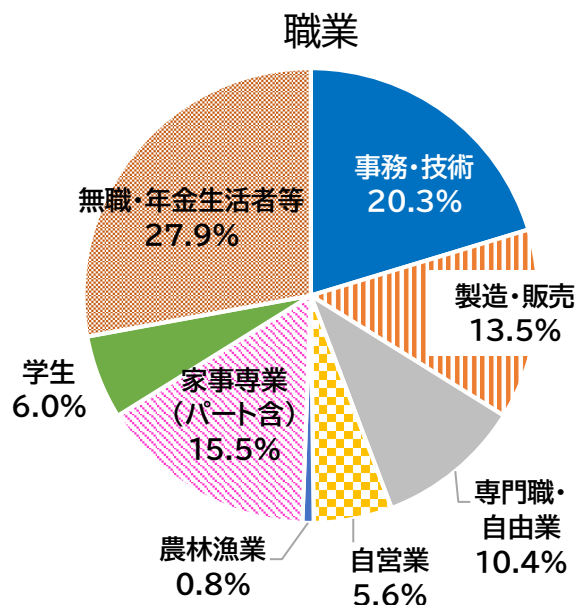
◆居住地域◆

	人数(人)	割合
大津地域	60	23.9%
湖南地域	59	23.5%
甲賀地域	27	10.8%
東近江地域	39	15.5%
湖東地域	31	12.4%
湖北地域	27	10.8%
湖西地域	8	3.2%
	251	100.0%



◆職業(問1)◆

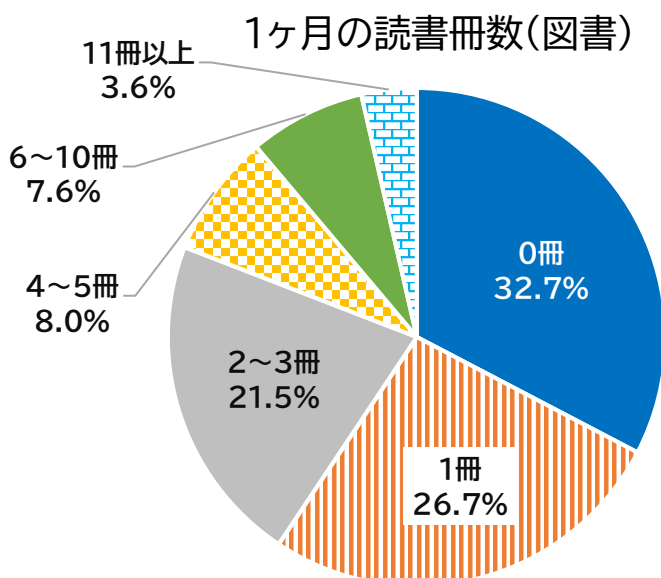
	人数(人)	割合
事務・技術	51	20.3%
製造・販売	34	13.5%
専門職・自由業	26	10.4%
自営業	14	5.6%
農林漁業	2	0.8%
家事専業(パート含)	39	15.5%
学生	15	6.0%
無職・年金生活者等	70	27.9%
合計	251	100.0%



問2 あなたは、本や雑誌を1カ月に平均で何冊ぐらい読みますか。

図書の場合

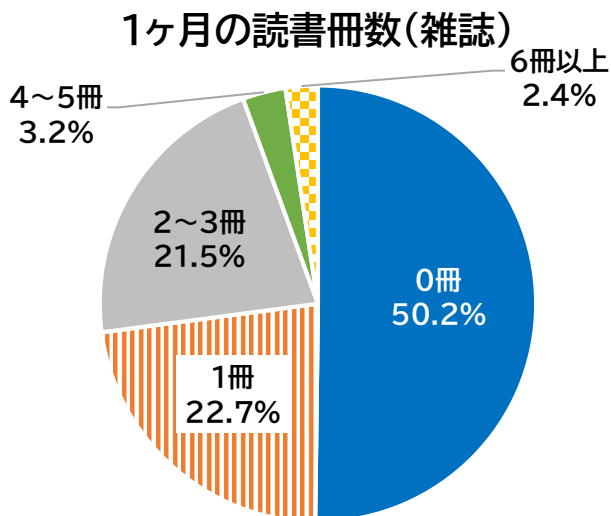
	人数(人)	割合
0冊	82	32.7%
1冊	67	26.7%
2~3冊	54	21.5%
4~5冊	20	8.0%
6~10冊	19	7.6%
11冊以上	9	3.6%
合計	251	100.0%



問2 あなたは、本や雑誌を1カ月に平均で何冊ぐらい読みますか。

雑誌の場合

	人数(人)	割合
0冊	126	50.2%
1冊	57	22.7%
2~3冊	54	21.5%
4~5冊	8	3.2%
6冊以上	6	2.4%
合計	251	100.0%



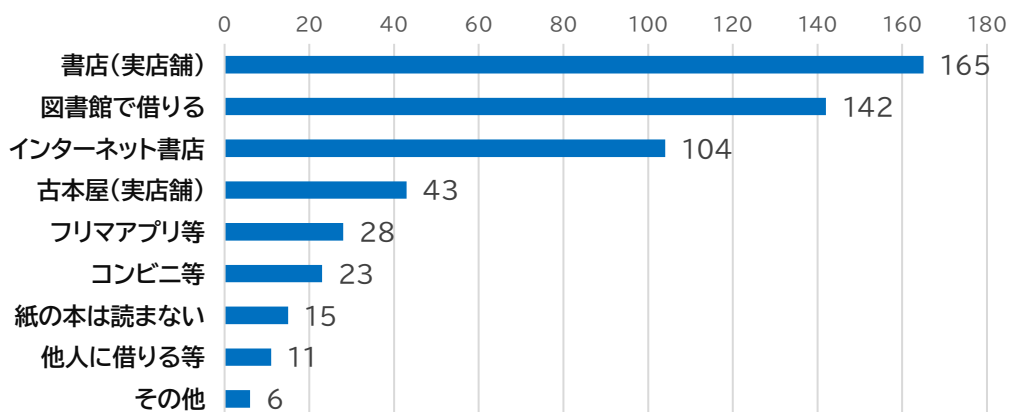
問3 あなたは、紙の書籍(本や雑誌)をどこで(あるいはどんな方法で)入手しますか。

当てはまるもの全てを選んでください。(回答チェックはいくつでも) ※n=251

	人数(人)	割合
書店(実店舗)	165	65.7%
古本屋(実店舗)	43	17.1%
コンビニ等	23	9.2%
インターネット書店	104	41.4%
フリマアプリ等	28	11.2%
図書館で借りる	142	56.6%
他人に借りる等	11	4.4%
紙の本は読まない	15	6.0%
その他	6	2.4%

- 「古本屋」は新古書店を含み実店舗を指します。
- 「フリマアプリ等」はインターネットの古書店・オークションサイト等、インターネットを利用した古書(新古書含む)の入手を指します。

紙の書籍の入手方法

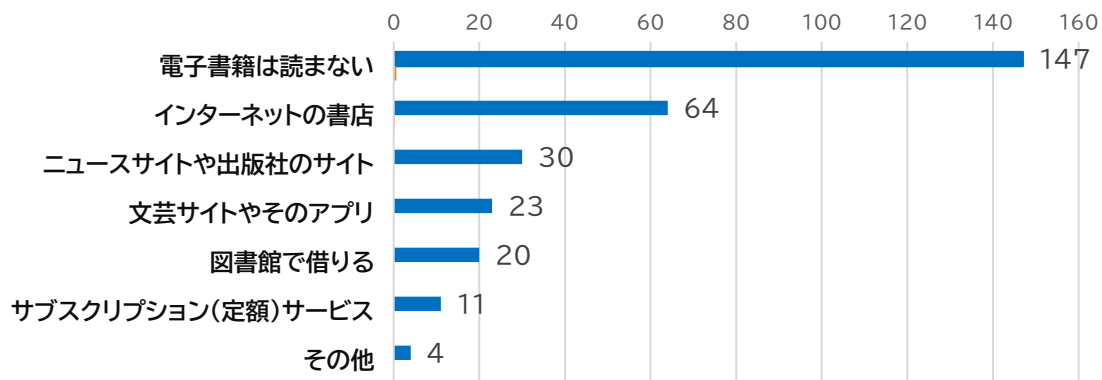


問 4 あなたは、電子書籍(本や雑誌)をどこで(あるいはどんな方法で)入手しますか。
 当てはまるもの全てを選んでください。(回答チェックはいくつでも) ※n=251

	人数(人)	割合
電子書籍は読まない	147	58.6%
インターネットの書店	64	25.5%
ニュースサイトや出版社のサイト	30	12.0%
文芸サイトやそのアプリ	23	9.2%
図書館で借りる	20	8.0%
サブスクリプション(定額)サービス	11	4.4%
その他	4	1.6%

● 「ニュースサイトや出版社のサイト」にはそれぞれのアプリケーションも含まれます。

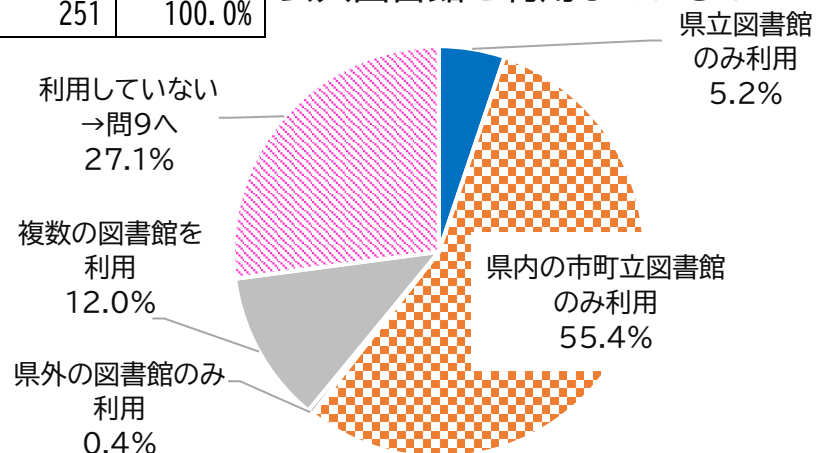
電子書籍の入手方法



問 5 あなたは現在公共図書館を利用していますか。

	人数(人)	割合
県立図書館のみ利用	13	5.2%
県内の市町立図書館のみ利用	139	55.4%
県外の図書館のみ利用	1	0.4%
複数の図書館を利用	30	12.0%
利用していない →問 9へ	68	27.1%
合計	251	100.0%

公共図書館を利用しているか

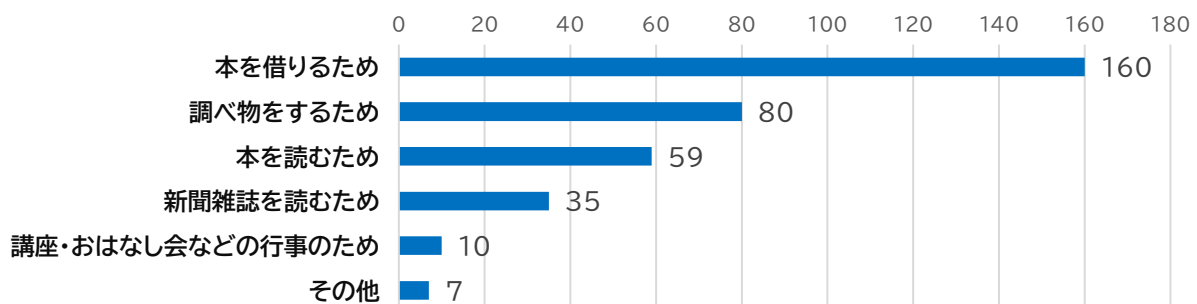


問 6 あなたが図書館を利用する目的を教えてください。(回答チェックはいくつでも)

※n=183

	人数(人)	割合
本を借りるため	160	87.4%
調べ物をするため	80	43.7%
本を読むため	59	32.2%
新聞雑誌を読むため	35	19.1%
講座・おはなし会などの行事のため	10	5.5%
その他	7	3.8%

図書館の利用目的



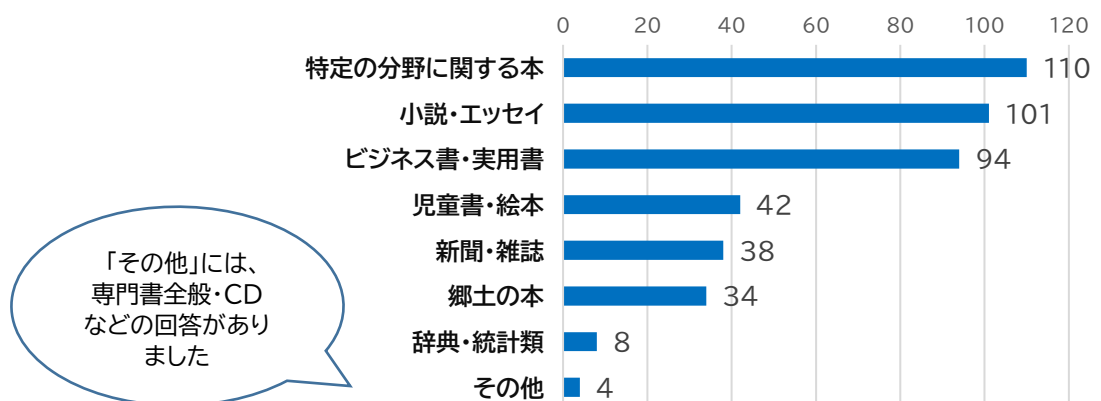
問 7 あなたが図書館で利用する本等の種類を教えてください。(回答チェックはいくつでも)

※n=183

	人数(人)	割合
特定の分野に関する本	110	60.1%
小説・エッセイ	101	55.2%
ビジネス書・実用書	94	51.4%
児童書・絵本	42	23.0%
新聞・雑誌	38	20.8%
郷土の本	34	18.6%
辞典・統計類	8	4.4%
その他	4	2.2%

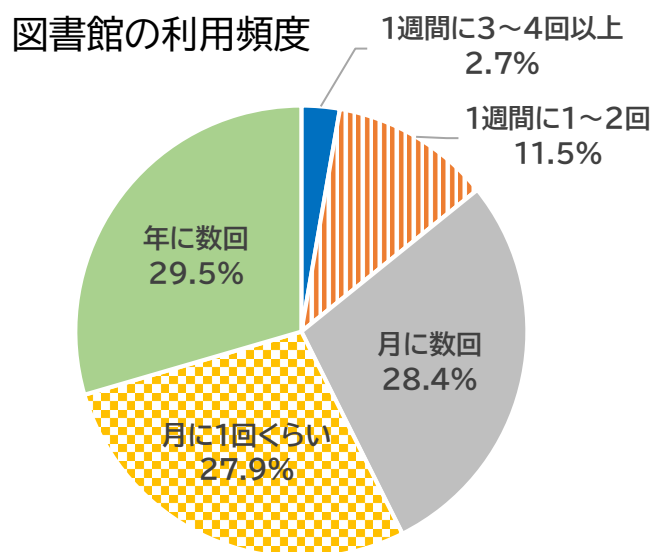
- 「特定の分野に関する本」とは、歴史・科学・芸術等、様々な分野の本を指します。

図書館で利用する本の種類



問 8 あなたは図書館をどの程度利用されていますか。→回答の後は問 10へ ※n=183

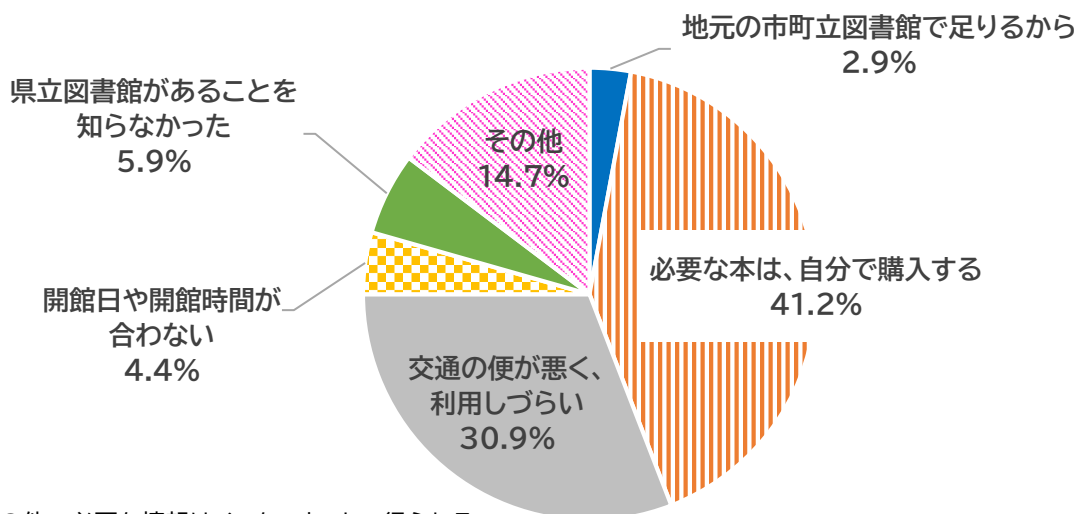
	人数(人)	割合
1週間に3~4回以上	5	2.7%
1週間に1~2回	21	11.5%
月に数回	52	28.4%
月に1回くらい	51	27.9%
年に数回	54	29.5%
合計	183	100.0%



問 9 「現在、公共図書館を利用していない」方にお尋ねします。現在、県立図書館を利用していないのはどのような理由からですか。もっとも当てはまる選択肢を1つだけ選んでください。 ※n=68

	人数(人)	割合
地元の市町立図書館で足りるから	2	2.9%
必要な本は、自分で購入する	28	41.2%
交通の便が悪く、利用しづらい	21	30.9%
開館日や開館時間が合わない	3	4.4%
県立図書館があることを知らなかった	4	5.9%
その他	10	14.7%
合計	68	100.0%

県立図書館を利用しない理由

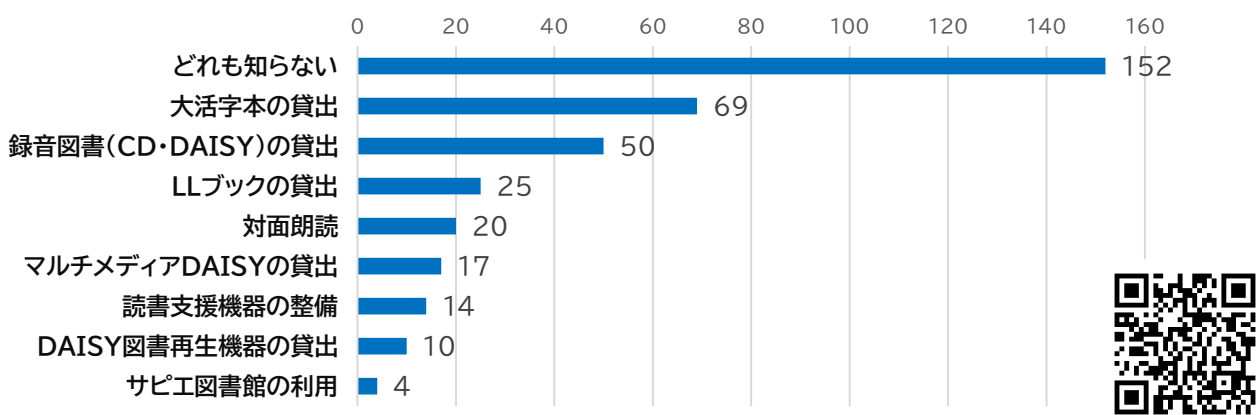


※その他…必要な情報はインターネットで得られる
 コロナの感染拡大により、不特定多数の人が触れる本を借りることに抵抗を感じる
 読みたい本が蔵書にない・子どもが騒いでしまうので行きづらい 等

問 10 令和 4 年 3 月、「滋賀県読書バリアフリー計画」が策定されました。現在県立図書館がおこなっている下記の読書バリアフリーサービスについて、あなたが知っているものをすべて教えてください。(回答チェックはいくつでも) ※n=251

	人数(人)	割合		人数(人)	割合
どれも知らない	152	60.6%	マルチメディア DAISY の貸出	17	6.8%
大活字本の貸出	69	27.5%	読書支援機器の整備	14	5.6%
録音図書(CD・DAISY)の貸出	50	19.9%	DAISY 図書再生機器の貸出	10	4.0%
LLブックの貸出	25	10.0%	サピエ図書館の利用	4	1.6%
対面朗読	20	8.0%			

あなたが知っているバリアフリーサービスは



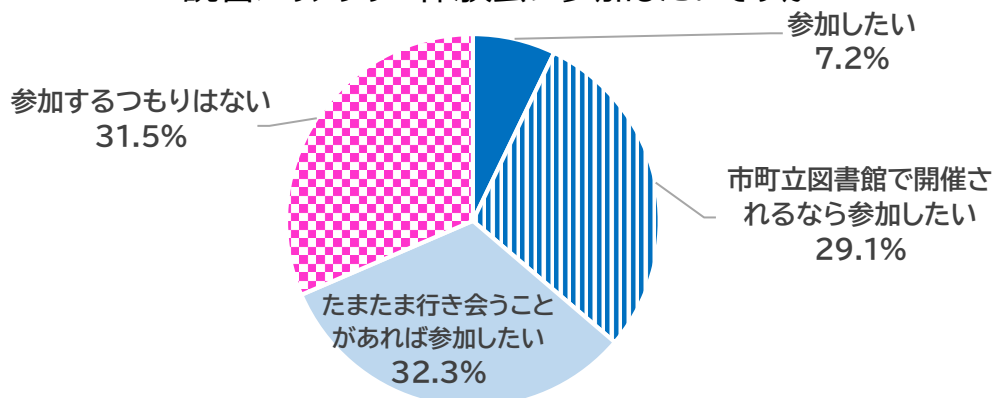
バリアフリーサービスの詳細は下記をご覧ください。

滋賀県立図書館「図書館利用に障害のある方へ」 <https://www.shiga-pref-library.jp/handicap/>

問 11 あなたは、読書支援機器や様々なバリアフリー図書の体験会に、参加してみたいと思いますか。

	人数(人)	割合
参加したい	18	7.2%
普段使っている市町立図書館で開催されるのであれば参加したい	73	29.1%
たまたま開催されているところに行き会うことがあれば参加してみたい	81	32.3%
参加するつもりはない	79	31.5%
合計	251	100.0%

読書バリアフリー体験会に参加したいですか？

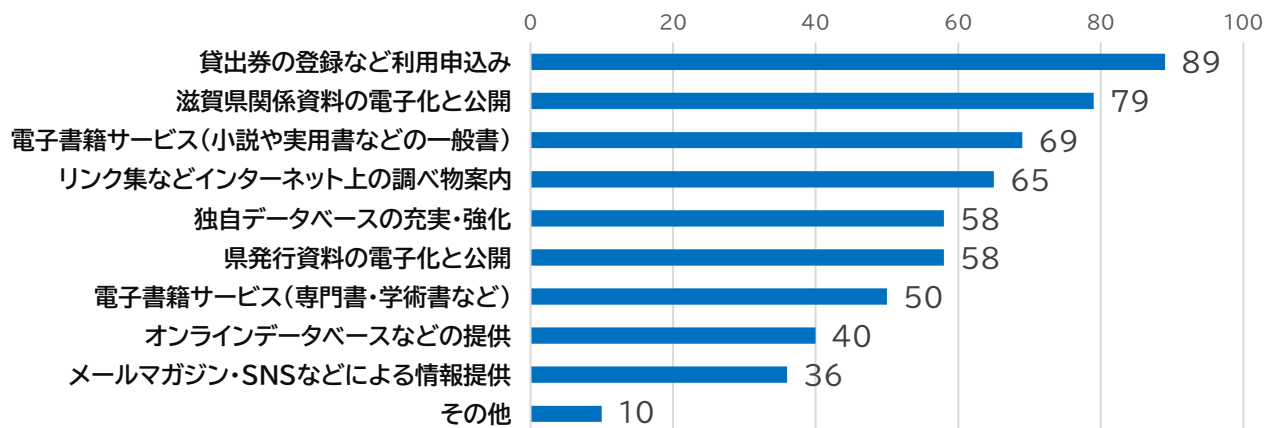


問 12 これから県立図書館で取り組むべきインターネットを利用したサービスは何だと思われますか。優先順位が高いと思われるものから3つを選んでください。

(回答チェックは3つまで)※n=251

	人数(人)	割合
貸出券の登録、資料の複写などの利用申込み	89	35.5%
滋賀県関係資料の電子化と公開	79	31.5%
電子書籍サービス(小説や実用書などの一般書)	69	27.5%
調べものの役に立つウェブサイト・データベースのリンク集など	65	25.9%
滋賀県関係新聞記事見出し検索など独自データベースの充実・強化	58	23.1%
県発行資料(統計や総合計画など)の電子化と公開	58	23.1%
電子書籍サービス(専門書・学術書や参考図書、洋書など)	50	19.9%
オンラインデータベースやオンラインジャーナルの提供	40	15.9%
メールマガジン・SNSなどによる情報提供	36	14.3%
その他	10	4.0%

県立図書館が今後力を入れるべきWebサービスは



※その他…未所蔵資料へのリクエスト機能

市町立図書館での受け取り資料の申込み

オンラインで申し込んで自宅へ配送するサービス

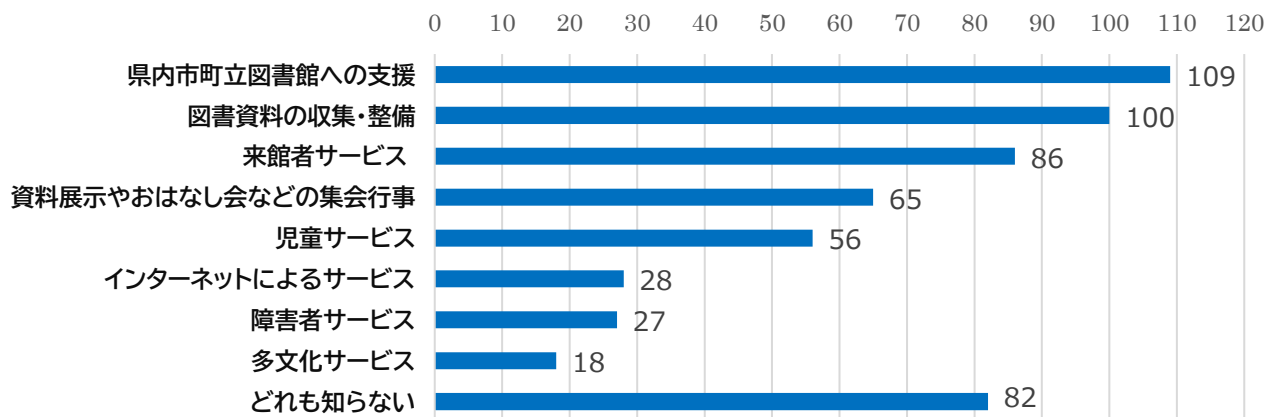
利用していないのでわからない 等



問 13 県立図書館がおこなっている下記の事業の中で、あなたが知っているものをすべて教えてください。(回答チェックはいくつでも) ※n=251

	人数(人)	割合
県内市町立図書館への支援	109	43.4%
図書資料の収集・整備	100	39.8%
来館者サービス ※貸出し、読書案内、レファレンス(調査相談)など	86	34.3%
資料展示やおはなし会などの集会行事	65	25.9%
児童サービス ※児童書の収集、おはなし会や読書案内など	56	22.3%
インターネットによるサービス ※独自データベースの整備など	28	11.2%
障害者サービス ※来館が困難な方への郵送貸出など	27	10.8%
多文化サービス ※様々な言語の資料を収集提供	18	7.2%
どれも知らない	82	32.7%

県立図書館の事業のうち、知っているものは

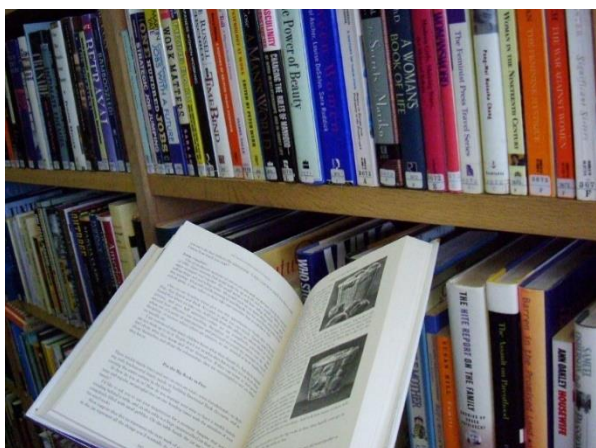


現在の県立図書館の事業については、ぜひホームページをご覧ください。



滋賀県立図書館ホームページ <https://www.shiga-pref-library.jp/>

滋賀県立図書館利用案内 <https://www.shiga-pref-library.jp/user-guide/>

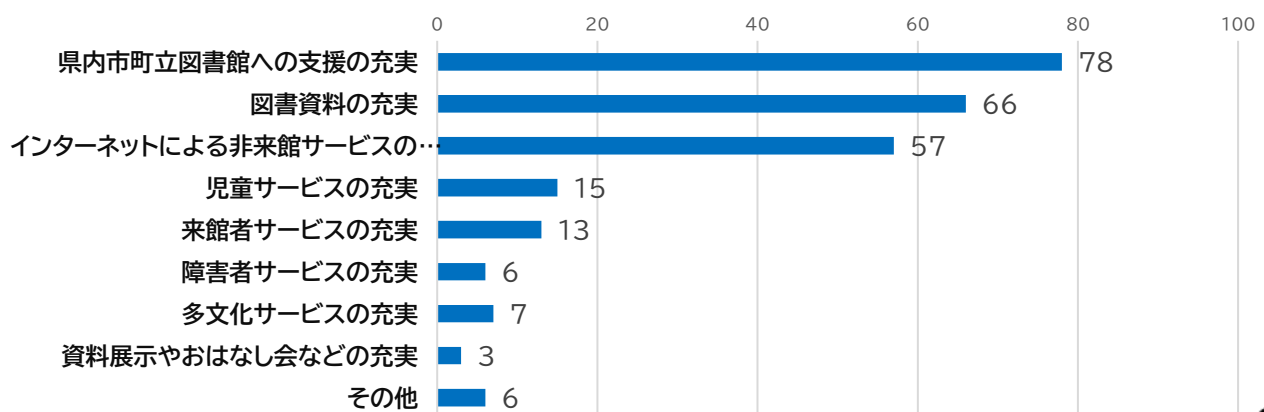


問 14 県立図書館が現在おこなっている事業の中で、これから最も優先して進めていくべき事柄は何だと思えますか。ひとつだけお答えください。(回答チェックはひとつだけ)

※n=251

	人数(人)	割合
県内市町立図書館への支援の充実(直接来館できない県民へのサービスの充実)	78	31.1%
図書資料の充実(求める本が、必ずある)	66	26.3%
インターネットによる非来館サービスの充実	57	22.7%
児童サービスの充実	15	6.0%
来館者サービスの充実(開館日の増加等)	13	5.2%
多文化サービスの充実	7	2.8%
障害者サービスの充実	6	2.4%
資料展示やおはなし会などの充実	3	1.2%
その他	6	2.4%
合計	251	100.0%

今後最も優先して進めるべき県立図書館の事業



※その他…立地条件の改善

インターネットを利用した図書の貸出
電子書籍の導入等による感染防止策の推進
高齢者支援(特に来館手段の確保)
小学校への新刊書籍の貸出
利用しないので希望することがない 等



問 15 その他図書館サービスについて御意見がありましたらご自由にお聞かせください。

※以下は回答の抜粋です。似た内容のものをまとめる等、文面を変えているものもあります。

- ・ 図書館は公共性が高いことから、休館日は必要最小限度としてほしい、例えば月1日程度。また利用時間ももう少し時間を伸ばしてほしい。
- ・ 図書館が夜間に利用出来たら便利だと思えます、夜間は図書館司書がいなくてもいいので、夜間利用できれば。

★次頁に続きます

問 15(自由記入欄)抜粋 続き

- ・ 図書館は地域住民が集まれる場所として適しているので、普段から老若男女問わない交流会や勉強会を頻繁に行い、参加した人たちが図書を利用する循環ができると良い。
- ・ あらゆる世代が利用し、読書の愉しみを得られる図書館の充実がQOLの向上を図る上でも重要だと感じます。
- ・ 子どもの教育に関する本(絵本、指導書など)をよく借りに行きますが、もっと新しい本があれば嬉しいです。しかけ絵本などは特にボロボロになっていることが多いので、補修したり新しいものに買い替えて欲しいと思います。
- ・ 書店の店頭に並ぶような新刊や人気の本が無い。予約してもなかなか順番が回ってこない。冊数を増やして、いつでも読めるようにしてほしい
- ・ コミックも置いてほしい。県内でも置いているところと置いていないところがあるが…。
- ・ 自習スペースの充実を(学生の利用増・家庭の節電)
- ・ ウクライナからの避難民を対象にした日本語教育の支援に関する活動等を、積極的に推進してほしい。
- ・ とにかく交通の便が悪く、なかなか行くことができない。来館せずとも使えるサービスを充実させて、電子書籍の貸出サービスを導入してほしい。
- ・ 健康な間は通っていたが、いずれ車の運転が難しくなれば、なかなか通えないと思う。図書館バスがあればよい。
- ・ 図書館に行けない人のためにインターネットを活用したサービスを充実させてほしい。
- ・ 時代に合ったサービス(対面朗読をオンラインでも行うなど...)が提供できたらいいと思う。
- ・ 県立図書館であれば、県が刊行している資料は、網羅していただきたいと思います。以前に市の図書館で市の刊行している洪水ハザードマップや地先お安全度マップがないため、備えていただきたくお願いしたことがありました。
- ・ コロナ禍によって人々の生活は様変わりし、図書館への人の流れや図書館に求める利用者の要求も大きく変わったものと思われます。図書館の形と役割は見直す時期に来ていると思います。県立図書館は受け身を脱して県内の図書館をリードし、電子書籍の貸し出しサービスの推進や、多文化・異文化交流、近江の歴史的資料の発掘と開示など、図書館の付加価値の追求に努めていただきたいと思います。
- ・ 県立図書館は遠いので、やはり身近かな市の図書館が充実してほしい。

◇県立図書館からひとこと◇

- ・ 県立図書館で行っておられる事業を知る方法は、ホームページを見るしかないのでしょうか。県の広報や、市町の広報やホームページにもものせていただくか、SMS(ラインなど)を利用したサービスを考えていただきたいと思います。

→行事などは広報誌「教育しが」にも掲載しています。また、LINE はありませんが、Twitter は行っており、行事や展示についてお知らせしています。ぜひフォローをお願いします。



- ・ オンラインで借りた本の確認ができると助かります。
→県内の公立図書館はどこでも、ホームページで利用状況の照会が可能です。ただし、利用にはパスワードの登録が必要です。お近くの図書館でご確認ください。

- ・ 図書館カードのアプリ化ができると私には便利です。
→県立図書館では、来年1月の図書館システムへの更新から、可能になります。

- ・ 市町村図書館で、図書検索ができるが、その範囲は各市町村図書館に留まっている。データベースをリンクして市町村図書館の端末で、市町村図書館の蔵書に加えて県立図書館の蔵書検索も同時にできるように。そうすれば、市町村に無くて県立にあるのがわかれば、県立図書館に出向くことができる。

→現在のところ、各館の蔵書検索での実施は難しいですが、県内公共図書館の所蔵を一括で検索できる「滋賀県立図書館横断検索」があります。是非ご利用ください。

滋賀県立図書館横断検索 <https://cross.shiga-pref-library.jp/dog/crs/>



- ・ 仕事で平日は図書館に行けません。祝休日を休館日にしないでいただきたいです。
→現在県内すべての公立図書館が、基本的に土日は開館しています(一部、第〇日曜日は休館、としている館もあります)。祝日開館をしている館も、以前と比べれば増えてきています。県立図書館は祝日も開館しています。是非一度ご来館ください。

県内公共図書館の情報はこちら <https://www.shiga-pref-library.jp/public-lib/list/>



ご協力ありがとうございました。ぜひ県内公共図書館をご利用ください。